

令和3年度

定期総会

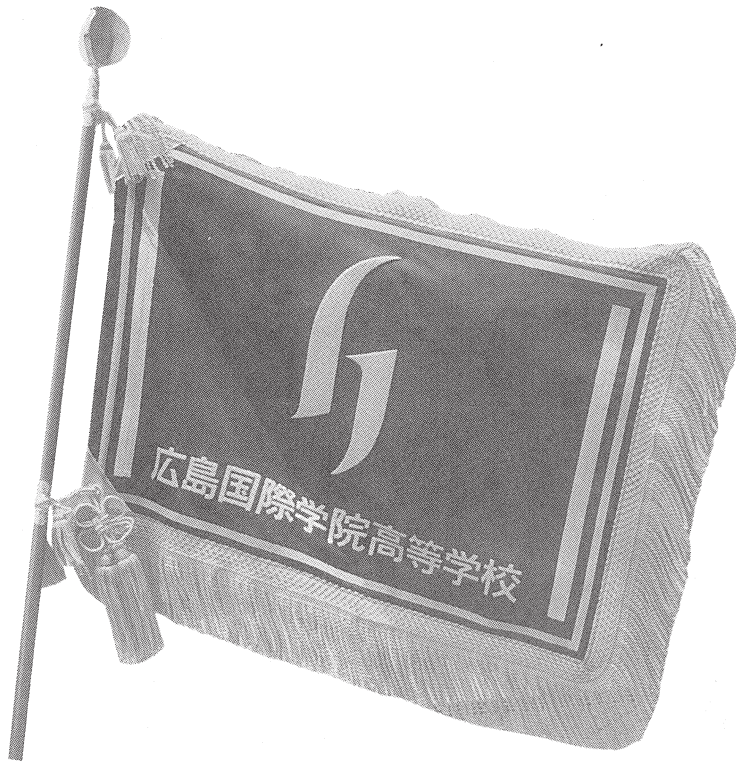
令和3年6月26日(土) 15時00分～

於、広島国際学院高等学校

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)



広島国際学院高等学校同窓会



広島国際学院高等学校校歌

作詞 萩野次夫
作曲 永井主憲

一、風光る

瀬野川の せせらぎ清く
若さみなぎる 愛の学舎まなびや
熱き心は 未来を見つめ
真理まことを探る 情熱おもいは一つ
わが学院は ここにあり

二、潮香る

瀬戸の海 遙かに望み
絆深める 我らが仲間
燃える心は 世界を見つめ
平和を誓う 願いは一つ
わが学院は ここにあり

総 会 次 第

15時00分～15時30分

1. 開 会 の 辞
2. 同 窓 会 会 長 挨 拶
3. 議 長 選 出
4. 議 事
 - (1) 令和2年度 活 動 報 告
 - (2) 令和2年度 決 算 報 告
 - (3) 令和2年度 会 計 監 査 報 告
 - (4) 令和3年度 活 動 計 画 案
 - (5) 令和3年度 予 算 案
 - (6) 同窓会規約改正案
 - (7) そ の 他
5. 議 長 解 任
6. 閉 会 の 辞

令和3年度 役 員 紹 介

(1) 令和2年度活動報告

<令和2年>

- 4月2日(木) 役員会(母校)
- 4月8日(水) 入学式参列(母校)
※新型コロナウイルスによる規模縮小のため参列取りやめ
- 4月24日(金) 役員・幹事・支部長合同会議 ※6月27日(土)に延期
- 5月中旬 陸上部OB会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 6月27日(土) 総会・懇親会(ホテルセンチュリー21広島)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会は高校での開催に変更
※懇親会は中止
- 7月中旬 矢野支部総会・懇親会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 7月下旬 安浦支部総会・懇親会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 8月下旬 海田支部総会・懇親会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 9月中旬 坂支部総会・懇親会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 10月13日(火) 役員会・同窓会報編集会議(母校)
- 10月27日(火) 同窓会奨学金給付授与式
竹内会長 山吹副会長
- 11月5日(木) 同窓会報編集会議(母校)
- 11月中旬 熊野支部総会・懇親会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
「文化祭」参観
※新型コロナウイルスによる規模縮小のため参観取りやめ
- 12月中旬 安佐支部総会・懇親会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

<令和3年>

1月14日(木) 同窓会編集会議(母校)

1月27日(水) 同窓会編集会議(母校)

2月4日(木) 同窓会編集会議(母校)

2月27日(土) 同窓会入会式

3月1日(月) 卒業証書授与式

※新型コロナウイルスによる規模縮小のため参観取りやめ

3月中旬 電消会親睦会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3月18日(木) 役員会(母校)

(2) 令和2年度 決算報告

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

〈収入の部〉

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	摘 要
前年度繰越金	繰越金	2,066,570	2,066,570	繰越金総額 4,866,570
	運用資金分	2,800,000	2,800,000	
会 費		4,048,000	4,016,000	8,000×502名(卒業時徴収)
懇親会会費		750,000	0	
祝儀等		100,000	0	
役員会等の会費		200,000	0	
雑収入		200,000	240,000	広告代等
運営基金費より繰り入れ		0	0	
預金利息		30	34	
合 計		10,164,600	A 9,122,604	

〈支出の部〉

科 目		予 算 額	決 算 額	摘 要
卒業記念品		650,000	658,170	記念品代
事務通信費		500,000	76,487	会議案内送料等
会議費		500,000	34,563	役員会
総会費		1,000,000	589,953	広告料,案内送料等
懇親会費		800,000	0	
支部総会祝金		250,000	0	祝金,役員出席者会費
奨学金		864,000	768,000	8,000×8名×12ヶ月
生徒会推進援助費		100,000	100,000	生徒会活動推進委員会へ
会報作成費		250,000	201,300	印刷代
弔慰費		10,000	0	
特別補助費		300,000	90,000	全国大会出場クラブ補助
運用資金		2,800,000	2,800,000	次年度の運用資金
予備費		640,600	22,090	長期役員謝金 雑費
運営基金費		1,000,000	1,000,000	同窓会運営基金費に繰り入れ
全国大会等基金費		500,000	500,000	全国大会等補助 基金費に繰り入れ
合 計		10,164,611	B 6,840,563	

差し引き残高 A-B 2,282,041円を令和3年度に繰り越します。

* 基金(定期預金と普通預金)

預金費目	前年度決算額	決 算 額	摘 要
同窓会運営基金費(普通)	6,781,220	7,781,278	本会計より1,000,000円繰り入れ
全国大会等補助 基金費(定期)	1,800,662	1,800,662	
全国大会等補助 基金費(普通)	1,097,249	1,597,259	本会計より500,000円繰り入れ
合 計	9,679,131	11,179,199	

(3) 令和 2 年度会計監査報告

令和 3 年 4 月 13 日、令和 2 年度の「同窓会会計」について帳簿・預金通帳等の書類を監査いたしました結果、適正に処理されていなかったことを報告いたします。

令和 3 年 4 月 13 日

会 計 監 査

川 本 康 裕 

静 川 徹 哉 

(4) 令和3年度 活動計画（案）

<令和3年>

4月初旬	役員会（母校）
4月8日（木）	入学式参列（母校）
4月下旬	役員・幹事・支部長合同会議 ※6月26日(土)に延期
5月中旬	陸上部OB会
6月26日（土）	総会（母校）
7月初旬	役員会
7月中旬	矢野支部総会・懇親会
7月下旬	安浦支部総会・懇親会
8月中旬	青年層対象親和会
8月下旬	海田支部総会・懇親会
9月中旬	坂支部総会・懇親会
9月下旬	前期会計監査
10月初旬	役員会議・同窓会報編集会議
10月中旬	同窓会奨学金「給付書授与式」（母校）
11月中旬	熊野支部総会・懇親会 「文化祭」参観
12月初旬	役員・幹事・支部長合同会議
12月中旬	安佐支部総会・懇親会

<令和4年>

1月中旬	同窓会報編集会議
1月下旬	同窓会報編集会議
2月初旬	同窓会報編集会議
2月中旬	同窓会報納品
2月下旬	同窓会入会式 「会報23号」発行 役員会議（母校）
3月1日	卒業証書授与式
3月中旬	電消会親睦会
3月下旬	役員会

(5) 令和3年度 予算 (案)

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

〈収入の部〉

(単位:円)

科 目		予 算 額	摘 要
前年繰越金	繰越分	2,290,248	
	運用資金分	2,800,000	
会 費		3,904,000	8,000×488名(卒業時徴収)
懇親会会費		750,000	
祝儀等		100,000	
役員会等の会費		200,000	
雑収入		200,000	広告代等
運営基金費より繰り入れ		0	
預金利息		30	
合 計		10,244,278	

〈支出の部〉

科 目		予 算 額	摘 要
卒業記念品		650,000	記念品代
事務通信費		200,000	会議案内送料
会議費		300,000	役員会、幹事会
総会費		600,000	広告料、案内送料等
懇親会		0	
支部総会祝金		250,000	祝金、役員出席者会費
奨学金		768,000	8,000円×8名×12ヶ月
生徒会推進援助費		150,000	生徒会活動推進委員会へ
会報作成費		250,000	印刷代
弔慰金		10,000	香典等
特別補助費		300,000	全国大会出場クラブ補助
運用資金		2,800,000	次年度の運用資金
予備費		966,278	
運営基金費		2,000,000	同窓会運営基金費に繰り入れ
全国大会等基金費		1,000,000	全国大会等補助基金費に繰り入れ
合 計		10,244,278	

* 基金 (定期預金と普通預金)

預金費目	予 算 額	摘 要
同窓会運営基金費 (普通)	9,781,278	本会計より2,000,000円繰り入れ
全国大会等補助基金費 (定期)	1,800,662	
全国大会等補助基金費 (普通)	3,097,259	本会計より1,500,000円繰り入れ
合 計	14,679,199	

(6) 広島国際学院高等学校同窓会規約 (案)

第1章 総 則

- 第1条 本会は「広島国際学院高等学校同窓会」と称し、本部を広島国際学院高等学校内（広島県安芸郡海田町曾田1-5）に置く。
- 第2条 この規約において会員とは原則として広島高等予備校・広島高等学校・広島電気学校・広島電機専門学校・広島電機高等学校・鼓浦女子商業専門高等学校・広島電機大学附属高等学校・広島国際学院高等学校の卒業生をもって構成する。但し、旧・現教職員は特別会員とする。
- 第3条 多数会員を擁する職場又は地区に、支部を置くことができる。
- 第4条 本会の運営は第5章に定める会計をもって当てる。
- 第5条 会員は氏名・住所・職場等に異動が生じた場合は、遅滞なく本部又は支部へ届けるものとする。

第2章 目的と事業

- 第6条 本会の目的は第2条に基づく卒業生相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第7条 本会は第6条の目的達成のために次の事業を行う。
1. 同窓会会員の親睦に関する事業を行う
 2. 母校在校生に対する奨学金支給に関する事業
 3. 母校生徒会活動の援助に関する事業
 4. その他、第6条の目的達成に関する事業

第3章 運営機関

- 第8条 本会は次の運営機関を置きその事業を遂行する。
1. 定期総会及び臨時総会
 2. 役員会
 3. 合同審議会
 4. 幹事会

第1節 総 会

- 第1項 総会は本会の最高決議機関であり、定期総会は年一回、臨時総会は会長が必要と認めた場合その都度開催する。
- 第2項 総会の議長は出席会員の互選により選出する。
- 第3項 総会は出席人員によって成立する。
但し、委任状提出者も出席と認める。
- 第4項 総会の議決は出席会員の多数決で決定する。
可否同数の場合は、議長がこれを決する。

第 2 節 役 員 会

第 1 項 役員会は本会の最高審議機関であり、総会の決議に従って業務を執行し責任を負う。

第 2 項 役員会の議長は会長がこれに当たる。

第 3 項 役員会は会長、副会長、幹事長、事務局長、書記、会計で構成される。尚、会長が必要と認めた時は、顧問、相談役、参与の出席を要請する。

第 3 節 合 同 審 議 会

第 1 項 合同審議会は役員会に次ぐ審議機関である。

第 2 項 合同審議会は、本部役員、幹事、各支部長、同期会、職域、クラブOBからの代表者等により、構成する。

第 3 項 合同審議会は下記の場合に開催し、事務局長が招集する。

1. 役員会開催後、必要に応じて定期的に開催
2. 会長が必要と認めた場合

第 4 節 幹 事 会

第 1 項 幹事会は合同審議会に次ぐ審議機関とする。

第 2 項 幹事は母校の推薦により若干名を選出し、役員会で承認する。又、幹事会の責任により補充・退任することができる。

第 3 項 幹事会の運営組織として、同窓会委員を選出し、第 9 条第 2 節 6 項の任務を遂行する。但し、原則として同窓会委員は、同窓生並びに母校関係者、教職員が当たる。

第 4 項 幹事会は下記の場合に開催し、事務局長が招集する。

1. 会長が必要と認めた場合
2. 幹事の 1 / 3 以上の賛成があった場合

但し、幹事会開催時には、会長・幹事長が出席すること。

第 4 章 役 員

第 9 条 本会には次の役員を置く。

会 長	1 名	会 計	1 名
副 会 長	若干名	会計監査	2 名
幹 事 長	1 名	顧 問	若干名
事務局長	1 名	相 談 役	若干名
書 記	2 名	参 与	若干名

第 1 節 役員を選出・任期

第 1 項 会長、副会長、幹事会、会計監査は会員の互選で選出し、総会で承認され、その任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 2 項 事務局長及び書記・会計は、同窓会委員会の推薦により、会長が

これを任命する。

第3項 顧問は原則として学法・理事長及び現職高校長を、相談役は歴代同窓会長に就任要請を行う。

第4項 参与は幹事会の要請により会長が必要と認めた場合選任する。
参与は原則として、副会長、幹事長、事務局長および書記経験者に就任要請を行う。

第2節 役員の仕事

第1項 会長は本会を代表してその職務を遂行し、総括する。

第2項 副会長は会長を補佐し、会長が不在の場合はその代理をする。

第3項 幹事長は会長、副会長を補佐し実務的な本会の運営を遂行する。

第4項 事務局長及び書記は、総会の議決による行事の遂行を行い、本部の事務業務を総括する。

第5項 会計は会計事務を、会計監査は年度の会計監査を行う。

第6項 同窓会委員は事務局長と共に行事の企画立案、予算の執行、事業運営等の業務を確認し、役員会等に助言できる。

第7項 顧問、相談役、参与には各々必要に応じ開催する会議において要請し、助言を受けることができるものとする。

第5章 会 計

第10条 本会の会計は下記の収入により運営する。

1. 会 費（入会金、終身会費）
2. 事業収入
3. 寄 付 金
4. そ の 他

第11条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日とする。

第12条 本会の予算並びに決算は総会の承認を受けなければならない。

第6章 規 約 改 定

第13条 本規約の改定は幹事会の承認を経て、総会の議決により改定する事ができる。

第7章 慶 弔 規 定

第14条 この規定は、広島国際学院高等学校同窓会（役員）の慶弔に関する事項を定めたものである。

1. 慶弔金等については、この規定の定めるところによる。

(慶弔金)

第15条 逝去には、慶弔金等を支給する。

1. この規定の適用を受けることができる者の範囲は、次に掲げるとおりとする。
 - (1) 役員
 - (2) 現教職員
 - (3) その他、会長に一任する。
2. 弔慰金等の種類は、次に掲げるとおりとする。
 - (1) 花輪又は生花一对
 - (2) 弔電
 - (3) 弔慰金
3. 花輪又は生花一对及び弔電を受ける者は、役員とする。
4. 弔慰金を受け取る者及びその額は、次に掲げるとおりとする。

区 分	対 象 者	弔 慰 金
役 員	本 人	10,000円

5. その他の規定

役員に対する記念品 10年以上 20,000円

附 則

本会は昭和30年10月1日より発足する。

この規約は昭和30年10月1日より効力を発効する。

昭和55年5月24日	改 定
昭和58年5月27日	一 部 改 定
昭和61年5月31日	一 部 改 定
平成4年5月30日	一 部 改 定
平成11年5月29日	一 部 改 定
平成12年5月27日	改 定
平成12年6月1日	改 定
平成16年6月12日	一 部 改 定
平成30年10月13日	一 部 改 定
令和3年6月26日	改 定

令和3年度役員

顧問		相談役	
鶴	素直 (名誉学院長)	岡	田民男 (第6代会長)
森	崎恒夫 (理事長)		
鶴	井淑弘 (元校長)		
長	野政義 (元校長)		
荻	野次夫 (元校長)		参 与
太	田茂 (元校長)	友	岡文夫 (元副会長)
岡	田隆治 (現校長)	下	田穆昭 (元事務局長)

役員

会	長	竹	内正彦	(昭和34年卒)
副	会 長	山	田雅昭	(昭和41年卒)
副	会 長	山	吹富邦	(昭和44年卒)
副	会 長	桐	原隆	(昭和63年卒)
副	会 長	岡	稔夫	(昭和63年卒)
幹	事 長	中	雅洋	(昭和42年卒)
事	務 局 長	小	笠原文六	(平成11年卒)
書	記	柿	田清次朗	(平成15年卒)
書	記	星	埜拓哉	(平成24年卒)
会	計	呉	洸星	(平成18年卒)
会	計 監 査	川	本康裕	(平成1年卒)
会	計 監 査	静	川徹哉	(平成8年卒)

歴代同窓会長

(敬称略)

代数	氏名	就任年月	退任年月
1	故 中 島 福 市	昭和30年10月	昭和35年3月
2	故 方 尺 省 三	昭和35年4月	昭和38年3月
3	故 長 谷 川 正 男	昭和38年3月	昭和40年3月
4	故 小 川 節 二 郎	昭和40年4月	昭和55年3月
5	故 永 山 薈	昭和55年4月	平成6年3月
6	岡 田 民 男	平成6年4月	平成18年3月
7	竹 内 正 彦	平成18年4月	現在に至る

幹 事

氏名	卒業年	氏名	卒業年
広 瀬 恒 顕	昭32年	乗 兼 始	昭45年
舛 行 礼 三	昭32年	徳 野 誠	昭47年
杉 原 弘 皓	昭34年	沢 井 重 孝	昭48年
鳴 石 隆 信	昭34年	坂 本 博	昭50年
川 口 勝 明	昭36年	櫃ノ上 清 史	昭51年
京 才 昭	昭37年	山 下 房 恵	昭52年
北 川 賢 三	昭38年	秦 郁 次 郎	昭52年
有 田 昌 明	昭39年	田 中 育 恵	昭53年
宮 本 誓 治	昭41年	藤 本 修	昭53年
藤 田 準 二	昭41年	土 佐 岡 正 之	昭56年
土 居 茂	昭41年	川 端 誠	昭58年
山 田 雅 昭	昭41年	大 下 賢 治	昭59年
林 昭 治	昭41年	中 下 浩 一	昭59年
上 村 直 樹	昭42年	上 中 村 仁	昭60年
中 雅 洋	昭42年	吉 川 勝 市	昭61年
戸 光 正 人	昭43年	天 田 明 神	昭61年
奥 田 幸 一	昭43年	桐 原 隆	昭63年
佐々木 克 己	昭43年	岡 稔 夫	昭63年
原 岡 政 樹	昭43年	宮 本 清 司	平1年
山 吹 富 邦	昭44年	熊 谷 孝 彦	平1年
木 原 里 子	昭44年	上 田 維	平2年
横 田 良 治	昭44年	足 羽 政 晴	平2年
藤 田 一 男	昭44年	山 岡 雄 一 朗	平2年

氏 名	卒業年	氏 名	卒業年
脇 本 晋	平2年	古 賀 直 人	平14年
今 田 伸 治	平3年	石 田 百 絵	平14年
高 橋 真 規	平3年	田 中 匡	平14年
田 中 郁 夫	平3年	馬 場 田 真 一	平15年
二 井 聡	平3年	古 田 美 智 穂	平15年
松 本 幸 久	平3年	藤 本 伸 也	平15年
落 合 史 行	平4年	上 時 佳 奈 恵	平15年
藤 原 一 樹	平4年	梅 木 敬 子	平15年
小 山 隆 之	平4年	益 田 孟	平16年
倉 沢 泰 幸	平4年	三 上 和 也	平16年
河 合 剛 志	平5年	近 藤 恵	平16年
三 宅 正 和	平5年	荒 木 祐 介	平17年
佐 川 与 之	平6年	三 反 田 由 貴	平17年
花 木 素 直	平6年	高 山 頌 弘	平17年
米 田 展 子	平6年	元 岡 信	平18年
池 田 純 一	平7年	山 本 涼 太	平18年
相 原 弘 明	平7年	淡 路 隆 行	平18年
大 本 竜 二	平7年	百 田 靖 豊	平19年
武 良 準	平7年	反 田 響	平19年
原 田 聡	平8年	渡 部 旦 子	平19年
伊 藤 秀 幸	平8年	生 田 智 恵 子	平20年
藤 田 久 明	平9年	竹 田 紗 希	平20年
静 川 徹 哉	平9年	竹 谷 亜 希	平20年
丸 山 実 果	平9年	高 畠 彩 乃	平21年
新 田 昌 紀	平10年	岸 本 雄 希	平21年
日 野 浦 昇	平10年	加 藤 有 希	平21年
森 木 仁 美	平10年	益 真 穂	平21年
山 本 洋	平11年	満 田 健 治	平22年
蔵 楽 善 樹	平11年	下 野 慎 倅	平22年
古 川 大 介	平11年	杉 平 知 穂	平22年
山 田 一	平12年	澤 田 奈 保 子	平22年
藤 原 尚 平	平12年	相 原 佑 耶	平23年
津 村 綾	平13年	室 木 聡 美	平23年
下 岡 武 司	平13年	佐 伯 乙 美	平23年

氏名	卒業年	氏名	卒業年
山方綾乃	平23年	津村聡志朗	平31年
菅田康介	平24年	戸能彰	平31年
大村遥	平24年	小林結菜	平31年
音間喬介	平24年	住田壮太	平31年
池田一貴	平24年	村尾慶臣	令2年
釜屋了輔	平25年	岡桜子	令2年
西本奈千花	平25年	中野琉聖	令2年
坂本悠梨華	平25年	西村唯奈	令2年
長代拓也	平25年	中高下璃依	令2年
横山晴香	平26年	堀由和	令2年
花房嶺大	平26年	榎汰樹	令2年
益田朝陽	平26年	金子颯斗	令2年
古月亮介	平26年	寺重飛佑	令2年
澤井祐介	平27年	谷口寛明	令2年
久行翔也	平27年	藤原秀人	令2年
山田純平	平27年	小倉理瑚	令2年
西野有咲	平27年	波多野裕作	令2年
池田和輝	平27年	松井未歩	令3年
築尾隆克	平28年	金森琳里奈	令3年
梶川紗恵	平28年	平山宜武	令3年
田原麻優	平28年	本山美咲	令3年
北村直大	平28年	山根美咲	令3年
小櫻友暉	平29年	杉澤空来	令3年
木村明保	平29年	濱田翔竜	令3年
橋本真子	平29年	海谷真輝	令3年
山本昇毅	平29年	海老名洋平	令3年
佐々木章之祐	平30年	内山ことは	令3年
桑谷和佳奈	平30年	石原和弥	令3年
畑中さくら	平30年	今田佑澄	令3年
佐々木奎吾	平30年	松村一輝	令3年
吉村理玖	平31年	佐々木玲子	令3年

同窓会委員 (卒業生教職員)

(敬称略)

幹事名	卒業年	幹事名	卒業年
市川 豊	昭58年	赤 繁 格	平18年
北 篤 志	平 8年	浦 上 忠 裕	平21年
門 前 慶 樹	平10年	源 亮	平23年
森 健 太郎	平10年	星 埜 拓 哉	平24年
小笠原 文 六	平11年	東 昇 吾	平24年
柿 田 清 次 朗	平15年	味 村 奈 実	平24年
呉 洸 星	平18年	小 島 優 哉	平26年

同窓会委員 (教職員)

(敬称略)

岡 田 隆 治	(校長)	瀬 越 徹	(教職員)
長 延 公 平	(教頭)	藤 田 圭 偉	(教職員)
田 中 満 彦	(教頭)	中 田 隆 太	(教職員)
沖 野 直 美	(教職員)	内 田 夏 海	(教職員)
奥 谷 佳 幸	(教職員)		

《地域支部》 (敬称略)

支部名	支部長名	卒業年
坂	林 昭 治	昭41年
安 浦	原 岡 政 輝	昭43年
安 佐	竹 田 操	昭44年
山 県	下 木 正 秋	昭42年
山 口 県	広 瀬 恒 顕	昭31年
熊 野	藤 井 正 信	昭38年
矢 野	鳴 石 隆 信	昭34年
海 田	森 川 貴 生	昭39年

《OB会》 (敬称略)

クラブ名	会長名	卒業年
自動車部	吉 田 正 光	昭45年
野球部	三 木 節 雄	昭36年
卓球部	益 田 道 弘	昭45年
山岳部	京 才 昭	昭37年
吹奏楽部	山 本 慎 二	平14年
柔道部	北 川 賢 三	昭38年
陸上部	鳴 石 隆 信	昭34年

《職 域》 (敬称略)

支部名	会長名	卒業年
市 消 防	今 岡 敬 明	平 5年

来年の総会予定

期 日 令和4年6月25日(土)
午後4時30分より(予定)

場 所 ホテルセンチュリー21広島
Tel 082-263-3111

学校法人 広島国際学院

広島国際学院高等学校

旧広島高等予備校 旧広島高等学校
旧広島電気学校 旧広島電機専門学校
旧広島電機高等学校(含鼓浦女子商業専門学校)
旧広島電機大学附属高等学校